

平成 31 年 3 月 15 日

第 5 回食育推進ネットワーク会議

食育推進ボランティア活動について

1 第6期1年目(平成 29 年度)の活動

(1) 食育推進ボランティア講座、情報交換会の実施

・ボランティア講座 5 日制(延べ 199 人受講) ・継続講座 1 回実施 衛生と調理実習

(2) ちゃんごはんの実施

平成 29 年度

6 児童館 2 学童クラブ その他 2 計 13 回実施(活動した食育推進ボランティア 40 人延べ 46 人)

日 程	場 所	参加数	日 程	場 所	参加数
6 月 24 日(土)	石神井台児童館	9	8 月 30 日(水)	光が丘児童館	11
8 月 9 日(水)	春日町児童館	17	9 月 20 日(水)	●南田中児童館	8
8 月 16 日(水)	上石神井児童館学童クラブ	26	11 月 25 日(土)	石神井台児童館	12
8 月 17 日(木)	大泉東小第 2 学童クラブ	37	11 月 25 日(土)	光が丘児童館	6
8 月 18 日(金)	土支田児童館	14	1 月 20 日(土)	中村児童館	14
8 月 26 日(土)	中村児童館	9	2 月 23 日(金)	○中高生の居場所	7
			2 月 24 日(土)	光が丘児童館	16

●乳幼児の保護者対象 ○中高生の夕食対象

2 第6期2年目(平成 30 年度)の活動

(1) 食育推進ボランティア講座

・ボランティア講座5日制(延べ 215 人受講)

・継続講座 1 回実施 講演「子どもの心と、大人のかかわり方・続編」

青い鳥なんでも相談室 岡村佳子先生・質疑応答、ディスカッション等

(2) ちゃんごはん事業の実施

平成 30 年度

8 児童館 2 学童クラブ その他 3 施設 計 16 回実施(活動した食育推進ボランティア 48 人延べ 57 名)

日 程	場 所	参加数	日 程	場 所	参加数
6 月 22 日(金)	●石神井児童館	8	9 月 20 日(木)	●北町かるがも親子の家	12
6 月 23 日(土)	石神井台児童館	9	9 月 26 日(水)	●南田中児童館	7
7 月 24 日(火)	関町児童館学童クラブ	21	11 月 7 日(水)	●東大泉児童館	5
8 月 1 日(水)	関町児童館	14	1 月 19 日(土)	光が丘児童館	14
8 月 8 日(水)	○富士見台小学校学童クラブ	80	1 月 26 日(土)	石神井台児童館	10
8 月 8 日(水)	春日町児童館	15	2 月 3 日(土)	中村児童館	10
8 月 25 日(土)	中村児童館	5	2 月 16 日(土)	光が丘地区区民館	24
8 月 28 日(火)	光が丘児童館	9	2 月 23 日(土)	○En カレッジ	10

●乳幼児保護者対象 ○ボランティア活動を希望する大人対象

30 年度途中より、調味料等を清掃リサイクル課フードドライブより、野菜を JA あおばより無償提供していただいている。食育の題材としても利用させていただいている。

3 29年度・30年度の取り組みのまとめ

- ① 29年度児童館より、乳幼児保護者を対象とした食育事業の実施について依頼があり、乳幼児保護者版「ちゃんとごはん」事業を開催した。今年度は3児童館より依頼があり、民間子育てサークルにも広がっている。
- ② 富士見台小学校学童クラブでの取り組みは、子ども食堂連絡会で子ども食堂利用の子どもたちに「ちゃんとごはん」の考え方を伝えていただきたいとお願いしたところから展開した。運営している子ども食堂でもテキストを使用していただいた。
- ③ 光が丘地区区民館は、保健相談所の地域食育講座から発展した。小さいころからの食育の大切さを伝えたところ地区区民館運営委員会より依頼があり実施となった。地域の小学校に募集チラシを配布し、今まで「ちゃんとごはん」の周知が届かなかったところに周知ができた。
- ④ En カレッジオープンキャンパスは、練馬区でボランティア活動をするため、講座の内容を事前に知りたいと申し込みをされた方を対象に、ねりまの食育ボランティア推進ボランティアについて説明し、「ちゃんとごはん」を体験していただくことを実施した。
- ⑤ 29年度より事業の標準化・役割分担のマニュアル化を進めたことにより、事前打ち合わせが少なくなり負担が少なくなった。マニュアル化により経験の少ない方も活動が容易になった。

4 その他

区の食育事業への協力

食育推進ボランティア講座

食育推進講演会(当日の運営協力)

健康フェスティバル食育ブース(和食の食生活やだしについてのアドバイス)

農業祭(野菜摂取量調査や和食の食育等)

5 今後の方向性

“大人になるまでに健康的な食事を自分で調理できる「食の自立」ができること”を基本に小学生を対象とした「ちゃんとごはん」事業は、「食の自立」を目指した食育が不十分であったと思われる子育て世代にも広がっている。活動内容について役割を明確化し、事業の標準化をすすめ新人でも活動がしやすくなっている中、「ちゃんとごはん」で経験を積んだ食育推進ボランティアが、活動した児童館を中心に独自のボランティア活動を展開するようになった。ねりまの食育推進ボランティアとしての活動と、その他の食育に関するボランティア活動が広がっている。今年度初めて実施した光が丘地区区民館の取り組みは、子どもから大人までが利用する施設であり今後、活動場所や対象者の検討をしていくこととなる。調理実習以外にも和食文化の継承や食の自立を目的とした事業を行うなど、地域での食を通したつながりを広げていく。

食育推進ボランティア講座の受講者の年齢は年々、若くなる傾向がある。子育て中の方も自身の子育てをしながらボランティア活動をする姿が見られる。また講座終了後実際にボランティア活動する人も7割程度ある。イベント参加等、事前準備の負担の少ない活動の場も広げていく。